

## 北海道におけるサケの来遊状況

平成 14 年（2002 年）12 月 20 日現在（最終）

独立行政法人さけ・ます資源管理センター

1. 平成 14 年の北海道におけるサケの来遊数は 4,468 万尾となった。これは、前年の 4,688 万尾の 95%、過去 10 年の平均 4,486 万尾とほぼ同程度で、過去 6 番目の来遊数となっている（図-1）。

海区別の来遊数は、オホーツク海区が 1,335 万尾（前年比 100%、過去 10 年平均対比 96%）、根室海区が 1,575 万尾（同 93%、107%）、えりも以東海区が 791 万尾（同 96%、110%）、えりも以西海区が 468 万尾（同 83%、84%）、日本海区が 299 万尾（同 115%、86%）となった。

月別の来遊割合は 8-9 月が 55%、10 月が 40%、11-12 月が 4%であり、最近 5 ヶ年と比較すると 8-9 月の割合が多く、11-12 月が少なくなっている。来遊ピークは、オホーツク、日本海及びえりも以東海区が 9 月下旬、根室海区が 9 月下旬から 10 月上旬にかけて、えりも以西海区が 9 月中旬と 10 月下旬であった（図-2）。

2. 平均目廻り<sup>\*1</sup>は北海道全体で 3.76kg であり、過去 5 ヶ年（平成 9 年：3.33kg、10 年 3.17kg、11 年：3.49kg、12 年：3.36kg、13 年：3.64kg）を上回っている。

\*1 平均目廻りとは沿岸漁獲の重量を尾数で除したものである。

3. 当センターで経年的にモニタリングを実施している斜里、石狩、西別、十勝、遊楽部川で捕獲された雌 4 年魚の体長は、近年大きくなっており、一時期の小型化傾向から大型化する傾向を示している（図-3）。

4. 河川捕獲サケ親魚における 4 年魚と 5 年魚の割合は、前期（10 月 10 日まで）では 4 年魚 41%、5 年魚 54%（前年 52%、44%）、中期（10 月 11 日から 11 月 5 日まで）では 4 年魚 60%、5 年魚 31%（前年 60%、32%）、後期（11 月 6 日以降）では 4 年魚 63%、5 年魚 24%（前年 64%、27%）となり、中・後期では前年と同程度の割合だが、前期では 5 年魚の割合が多くなっている（図-4）。

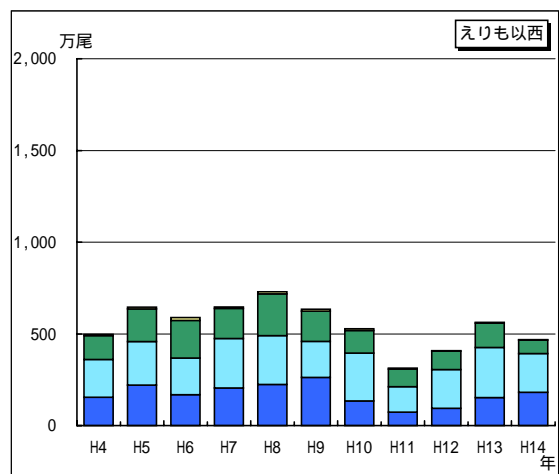
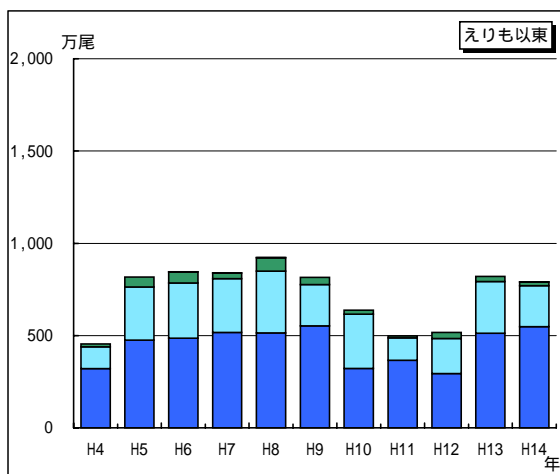
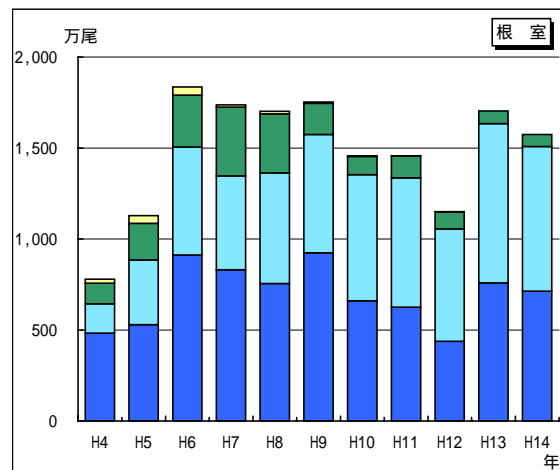
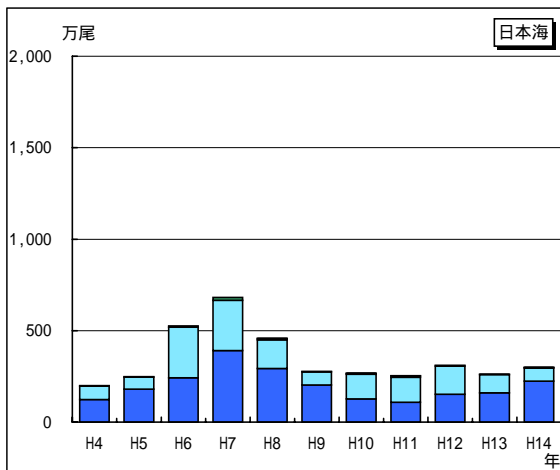
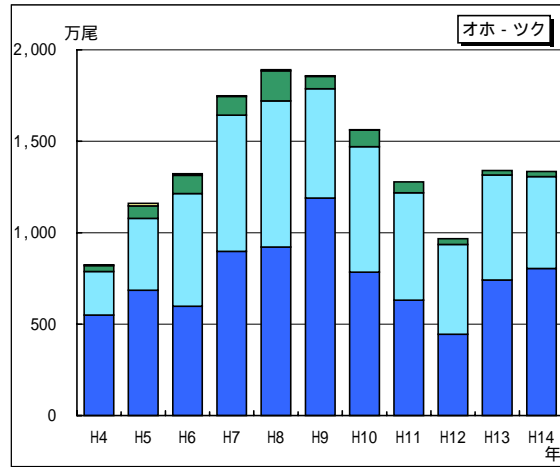
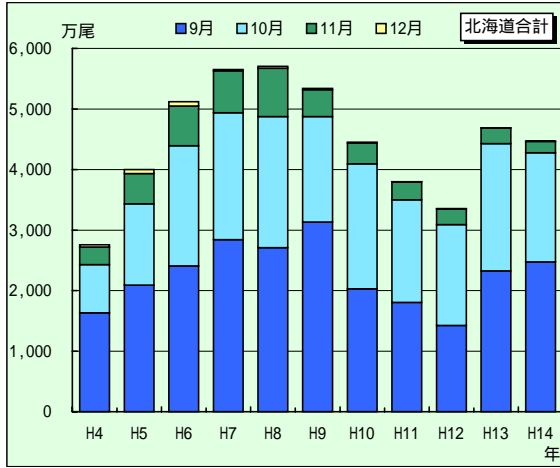
また、平成 14 年の 5 年魚と 4 年魚の来遊数を平成 1 年級群以降の 5 年魚、4 年魚と比べてみると、5 年魚（平成 9 年級群）では平成 2 年級群に次いで多い来遊数となっているが、4 年魚（平成 10 年級群）では逆に平成 7 年級群に次いで少ない来遊数となっている（図-5）。

5. 平成 14 年の来遊魚の平均目廻りが大きいのは、前述したように高齢魚（5 年魚以上）の割合が多いことと<sup>\*2</sup>（図-4）、各年齢の平均体サイズが大きくなっているためと考えられる（図-3）。

\*2 サケは 3 年魚より 4 年魚、4 年魚より 5 年魚というように年齢が高いほど体サイズが大きい傾向があるので、高齢魚が多いほど平均目廻りは大きくなる。

# 図 - 1 海区別来遊数の推移

平成 14 年（2002 年）12 月 20 日現在（最終）



## 図 - 2 海区別旬別来遊数

平成 14 年 ( 2002 年 ) 12 月 20 日現在 ( 最終 )

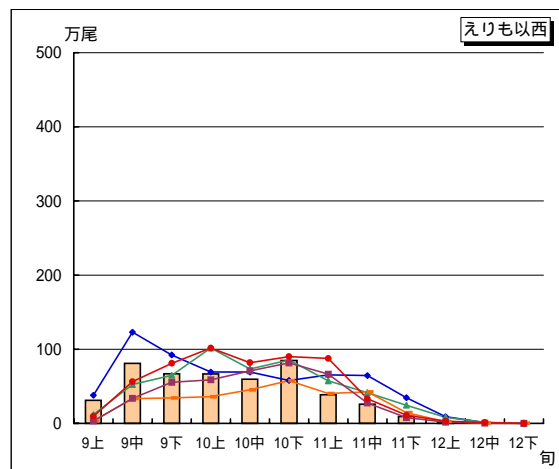
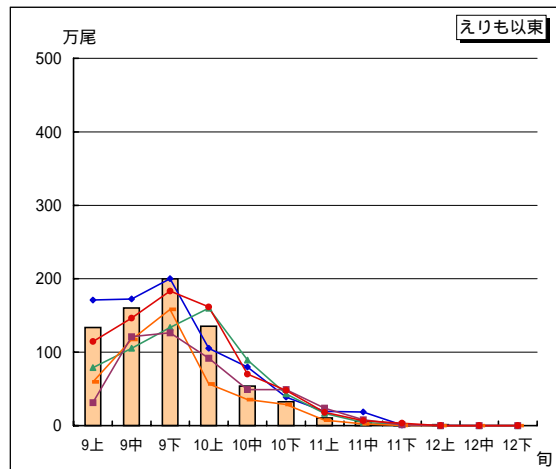
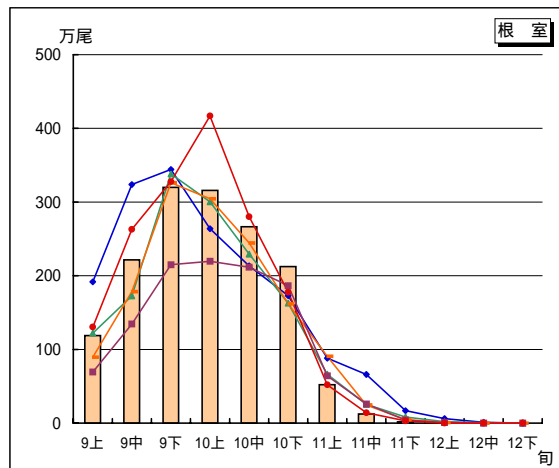
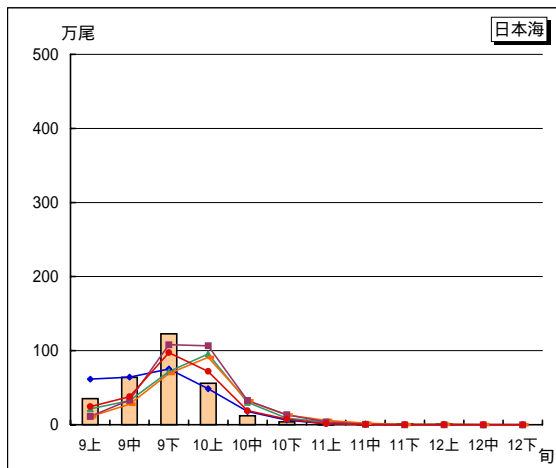
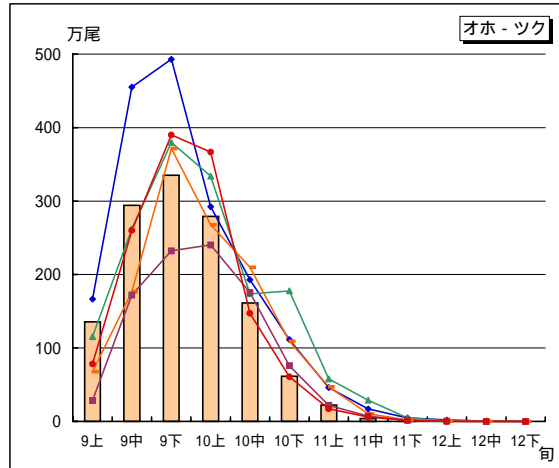
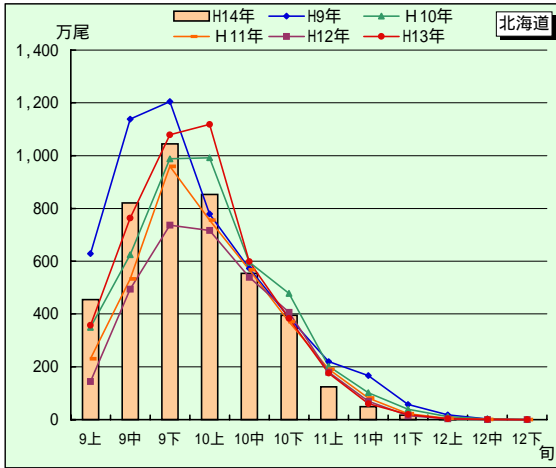


図 - 3 雌 4 年魚の体長の推移

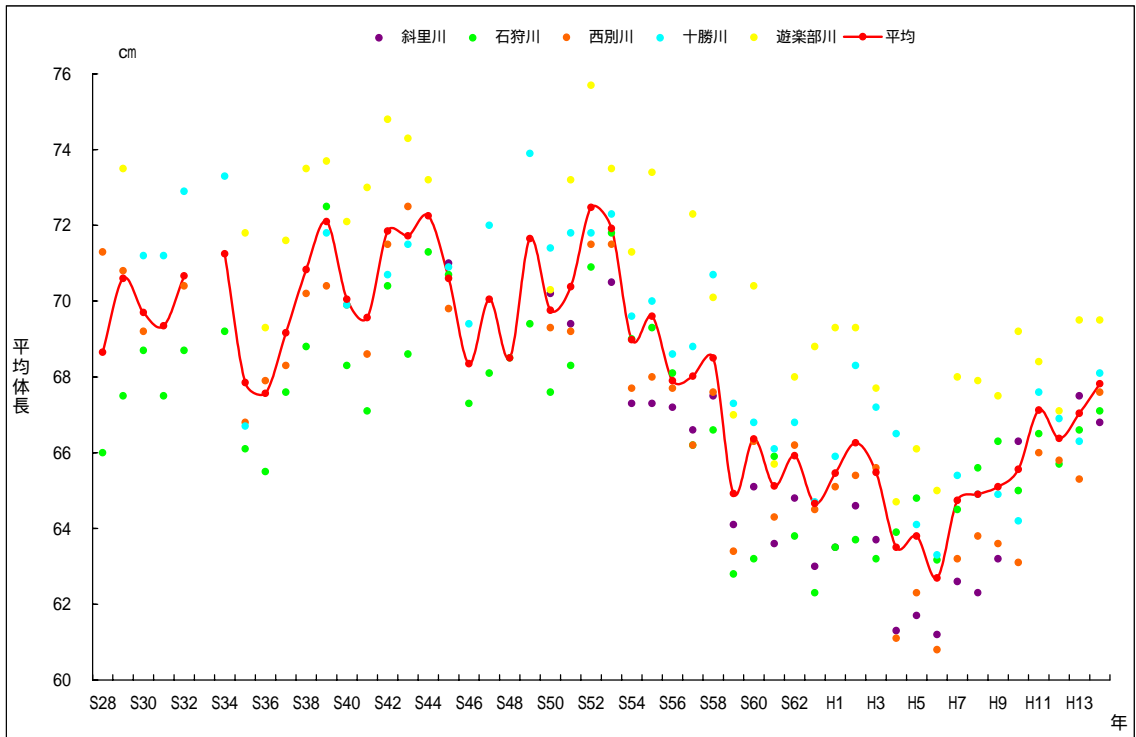


図 - 4 河川捕獲サケ親魚の年齢組成

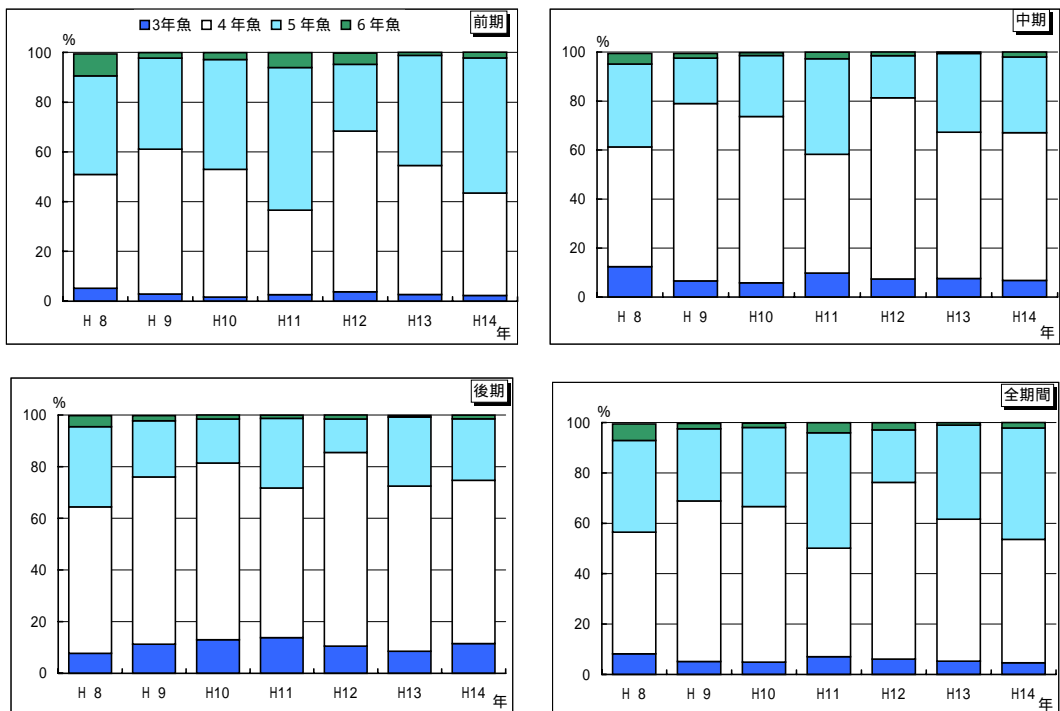


図 - 5 年級群別来遊数の推移

